様式第１号

令和　年　月　日

伴走型ＤＸ推進プロジェクト　参加申請書

公益財団法人ふくい産業支援センター

　理事長　様

郵便番号

住　　所

事業者名

代表者名

担当者氏名

連絡先　　　TEL

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　FAX

　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail

伴走型ＤＸ推進プロジェクトへの参加を希望しますので、下記のとおり申請書類を提出します。

記

提出書類

　（１）申請者の詳細（別紙１）

　（２）現況および実施計画書（別紙２）

　（３）［法人の場合］直近二期分の決算書資料の写し

　　　 ［個人の場合］直近二期分の確定申告書の写し

　（４）会社の概要のわかるもの（パンフレット等）

（別紙１）

申請者の詳細

○企業情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業・団体名 | 　 | 代表者名 | （役職）　　（氏名）　　（年齢）　　　　歳 |
| 所 在 地 |  |
| 創 業 年 | 　 | 資 本 金 | 　　　　　　　　千円 |
| 業　　種 | 　 | 従業員数 | （役員）　　　　　　 人（正社員）　　　　　　 人（パート・アルバイト）　　　　人（合計）　　　　　 人 |
| 売上構成 | 事業（取扱品目）内容 | 売上構成 |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
| 仕事の概要（主な商品やサービス） | 　 |

○財務状況 　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 直近期末 | １期前 | ２期前 |
| 　　　年　　月期 | 　　　年　　月期 | 　　　年　　月期 |
| 売上 |  |  |  |
| 売上総利益 |  |  |  |
| 営業利益 |  |  |  |
| 経常利益 |  |  |  |
| 当期利益（税引後） |  |  |  |
| 減価償却費 |  |  |  |
| 総資本（負債＋純資産） |  |  |  |
| 自己資本（純資産） |  |  |  |

（別紙２）

現況および実施計画書

１　事業の現状と経営の考え方

|  |
| --- |
| ※以下の事項を参考に、計５００～１，０００字程度で記入してください。※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。・現在の事業の概要（主な商品・サービス、業界の特性）・自社を取り巻く環境や市場動向、経営上の課題認識・現在の重要顧客に対して提供している価値と、自社が選ばれている理由・創業時または事業承継時の想い、経営において大切にしている価値観や方針 |

２　今後、どのような会社を目指していきたいか

|  |
| --- |
| ※以下の事項を参考に、計５００～１，０００字程度で記入してください。※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。・今後、どのようなお客様に、どのような価値を提供できる会社になりたいか・その価値提供を実現するために、業務体制や働き方、組織のあり方をどう変えていきたいか・現在と比べて、どのような点が変化していれば「目指す姿に近づいた」と言えるか・将来的に目指す企業像や、地域内・業界内でのポジション（あれば） |

３　目指す姿とのギャップと課題

|  |
| --- |
| ※２で記入した将来像と事業の現状とのギャップから見える経営課題について、以下の事項を参考に、５００～１，０００字程度で記入してください。※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。・将来のお客様像や価値提供の実現に向けて、現時点で不足・不十分な点は何か・日々の業務や意思決定における非効率、属人化、情報の分断などの課題はあるか・提供している価値が顧客や取引先に十分に伝わっていないと感じる点はあるか・業務の進め方、組織体制、人材育成、情報共有の仕組みなど、デジタル活用分野に限らず幅広い観点から課題を記載すること |

４　課題解決のための取組の概要と目標（ゴール）

|  |
| --- |
| （１）今後の取組（予定を含む） |
| ※３で記入した課題を解決するために、データやデジタル技術を活用して取り組む内容を、できるだけ具体的に記入してください。※今回の伴走支援で実施する取組内容以外も含めて記入してください。※既に着手している取組については、「現時点で取り組んでいる事項」に記入してください。※記入方法は箇条書きでも文章でも構いません。 |
| （２）現在の取組（実施中） |
| ※すでに実施しているデジタル活用の取組があれば記載してください。※記入方法は箇条書きでも文章でも構いません。 |
| （３）取組によって目指す姿（成果目標） |
| ※上記の取組によって実現を目指す状態・成果を、できるだけ定量的に記載してください。（例：「作業時間〇％削減」「納期〇％短縮」「属人業務を〇名体制化」「検査業務の自動化率〇％達成」など）※記入方法は箇条書きでも文章でも構いません。 |
| （４）予算額（概算） |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円※上記取組の実施に必要と見込まれるおおよその費用で構いません。 |

５　本事業で伴走支援してほしい内容

|  |
| --- |
| （１）本事業で伴走支援を希望する取組 |
| ※４（１）で記載した内容のうち、専門家による伴走支援を希望する取組について、具体的に記入してください。※記入方法は箇条書きでも文章でも構いません。 |
| （２）本事業で伴走支援してほしい内容 |
| ※（１）の取組を実施するうえで、専門家による伴走支援を希望する事項について、以下の２点を可能な範囲でご記入ください。・支援が必要な理由（どこに悩みや課題があるか）・具体的に支援してもらいたい内容（わかる範囲で）※記入方法は箇条書きでも文章でも構いません。※支援内容は申請後、専門家と相談のうえ決定します。 |

６　ＤＸに向けた取組みを担う主な組織（部署）体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 組織（部署）名 |  | 人数 |  |
| 主担当者①（役職・氏名） |  |
| ①の実施する職務・役割 |  |
| 担当者②（役職・氏名） |  |
| ②の実施する職務・役割 |  |
| 担当者③（役職・氏名） |  |
| ③の実施する職務・役割 |  |

（注１）組織（部署）の担当者は、最低でも１名（主担当者）を記入すること。

（注２）担当者の欄は、必要に応じて行を追加しても差し支えない。

様式第２号

令和　年　月　日

公益財団法人ふくい産業支援センター

　理事長　様

住　　　所

事業者名

代表者氏名

令和　年度　伴走型ＤＸ推進プロジェクト

支援終了後における事業実施状況報告書

令和　年度に貴産業支援センターより支援を受けた標記事業に関し、令和　年度の事業実施状況について、伴走型ＤＸ推進プロジェクト実施要領第１１条の規定により下記のとおり報告します。

記

１　事業の実施状況および得られた成果

　※専門家による支援を受けて実施した取組みについて、支援終了後における実施状況、事業実施により得られた成果等について具体的に記入してください。

　　上記の他、自社で実施しているＤＸ推進に向けた取組み等があれば、併せて記入してください。

２　事業収支（会社全体の数値を記載すること）　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 直近期末 | １年後 | ２年後 | ３年後 |
| 年　月期 | 年　月期 | 年　月期 | 年　月期 |
| 売上高 |  |  |  |  |
| 営業利益 |  |  |  |  |
| 減価償却費 |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |
| 設備投資額 |  |  |  |  |
| 従業員数 |  |  |  |  |

（注１）「直近期末」には、当該プロジェクトの支援先企業として採択を受けた日の属する年度の１期前の会計期間における状況、「１年後」には、採択を受けた日を含む会計期間における状況を記入すること。

（注２）「設備投資額」には、自社のＤＸの推進に向けてデジタルツール等の設備を導入した場合に導入に要した経費を記入すること。

（注３）従業員数には会社役員を含めること。

（注４）実績を記入すること。（実績が未確定の場合は記入不要）